

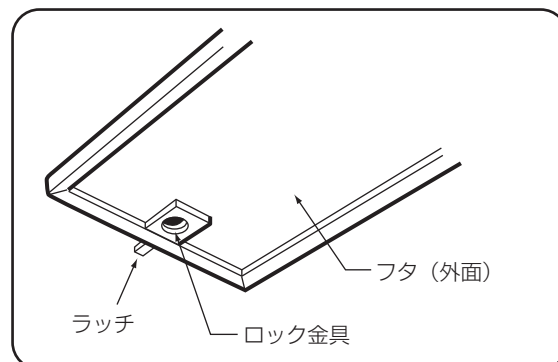
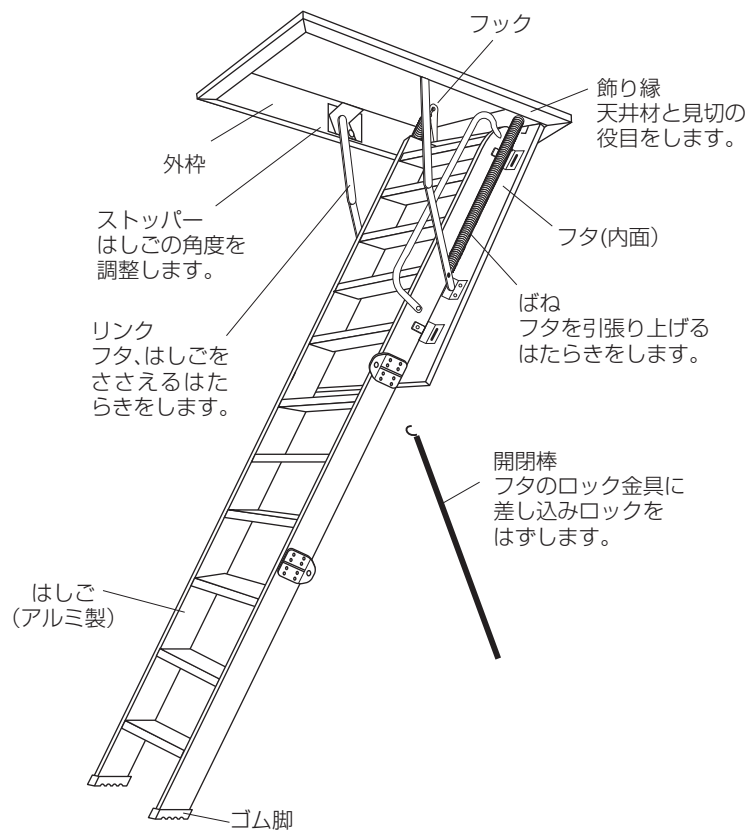
スライドタラップ 36型アルミ

「施工業者様へのお願い」

●弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用いただくためのお願い事項やお手入れ方法などの重要な内容を記載した「取扱い説明書」を添付しております。
必ず、お施主様に手渡しいただきますようお願いいたします。
(取扱説明書は <https://www.daiken.jp/qr/manual/> よりダウンロード可能です)



1. 各部の名称と働き



必ずお守りいただきたいこと

施工前の確認事項

天井裏の利用については建築基準法により規制がありますので、スライドラップを使用する場合は、天井裏を居室としての使用はできません。

〈法規制〉建設省住指発第682号（平成12.6.1）

- ・小屋裏物置の部分の水平投影面積は直下の階の床面積の2分の1未満であること。
- ・小屋裏物置の天井の最高の高さは1.4m以下であること。
- ・物の出し入れのために利用するはしご等は、固定式のものとしないこと

危険

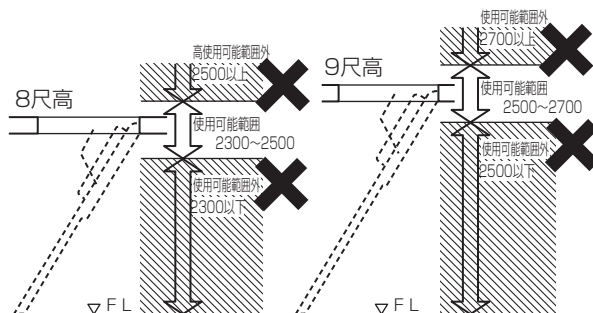
天井高が使用可能範囲外で施工しないこと。

この製品の使用可能範囲(天井高)は、

8尺用 2,300~2,500mm

9尺用 2,500~2,700mmです。

使用可能範囲外で使うと踏みはずしの原因、一部箇所集中し、破損により落下して、ケガをする危険があります。



警告

業務用や屋外に施工しないこと。

この製品は一般家庭の屋内用です。

業務用や屋外に使用すると、使用頻度オーバー、劣化、サビ、変形し、破損により落下して、ケガをする危険があります。



手すりの取り付け位置を変更する場合は、確実にボルトナットの締め付けを行うこと。

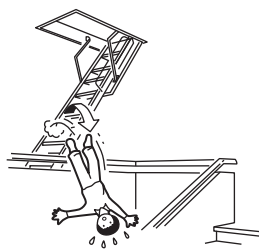
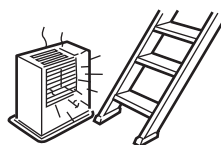
締め付けが弱いと手すりがグラツキ、落下の危険があります。

確実に締め付ける



階段・吹き抜け・ドア・火気の近くに施工しないこと。

- ・階段、吹き抜け、火気の近くに設置すると踏みはずしなどで、落下した場合のケガの危険度が増します。



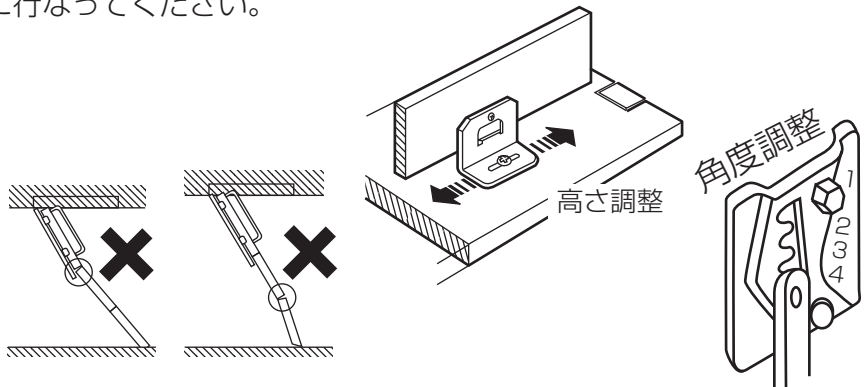
- ・ドアの近くに設置すると、ドアがスライドラップに当たりゆらすことにより踏みはずしや、落下によりケガをする危険があります。



⚠ 注意

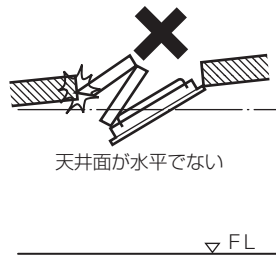
はしご角度・高さ調整は確実に行ってください。

調整されないまま放置・使用されると一部に荷重が集中し、変形・破損することにより落下し、ケガをする危険があります。
床仕上げ等天井高が変わる時も忘れずに調整を行ってください。



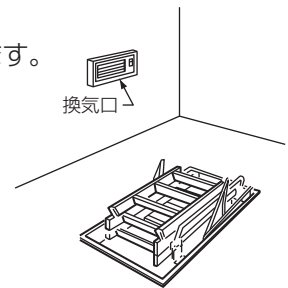
必ず水平な天井面に施工してください。

水平でないと正常な作動ができなくなり、天井フタが急に開く恐れがあります。また、はしごの一部の箇所に荷重が集中しはしごが変形、破損することにより、昇降時に落下してケガをする危険があります。



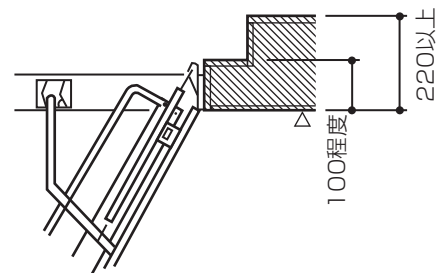
小屋裏は必ず換気口等換気機能を設けてください。

酸素欠乏になる危険があります。



外枠下面から小屋裏床面までの高さが220mm以上になる場合は、外枠上面に右図のような階段状のステップを設けてください。

小屋裏床面が高いと角につまずき、落下しケガをする危険があります。



ビスの締め付け不足、またはビスの締め過ぎによる空回りの状態に注意してください。

製品が外れて、けがや破損のおそれがあります。

危険の定義とシンボルマーク

本施工説明書では【危険】 【警告】 【注意】を次のような定義で使用しています。

⚠ 危険

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合

⚠ 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される場合

⚠ 注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合

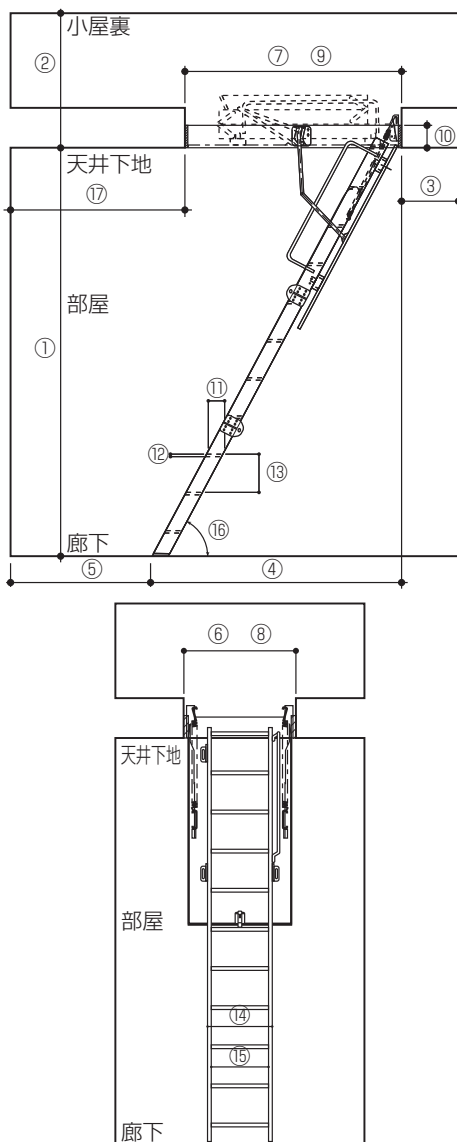
2. 製品仕様

製品寸法	639×1250×315 (収納時)
外 枠	(本体) 合板
	(額縁) 樹脂製
フ タ	合板
は し ご	アルミ
手 す り	鋼製 (焼付塗装)
製品重量	<8尺用> 26kg
	<9尺用> 27kg
天井高寸法	<8尺用> 2300~2500
	<9尺用> 2500~2700
段 数	<8尺用> 11段
	<9尺用> 12段

3. 梱包内容

名 称	数 量	内 容
フ タ ・ 枠	1	・外枠×1セット・フタ×1枚
		・フタ飾縁×1セット・丁番×2・錠×1
		・リンク×2・ストッパー×2
		・ブラケット×2・フック×4・バネ×2
		} 取付済
は し ご	1	・はしご×1セット
		・取付スライド金具×6
		・手すり×1
		} 取付済
飾 縁	1セット	・長手用×2・短手用×2・コーナーカバー×4
開 閉 棒	1	
部 品 袋	1	・施工補助L金具×4
		・ // 取付ビス×8 (M4×14)
施工説明書	1	・施工業者様用
取扱説明書	1	・施主様用

4. 標準納まり図

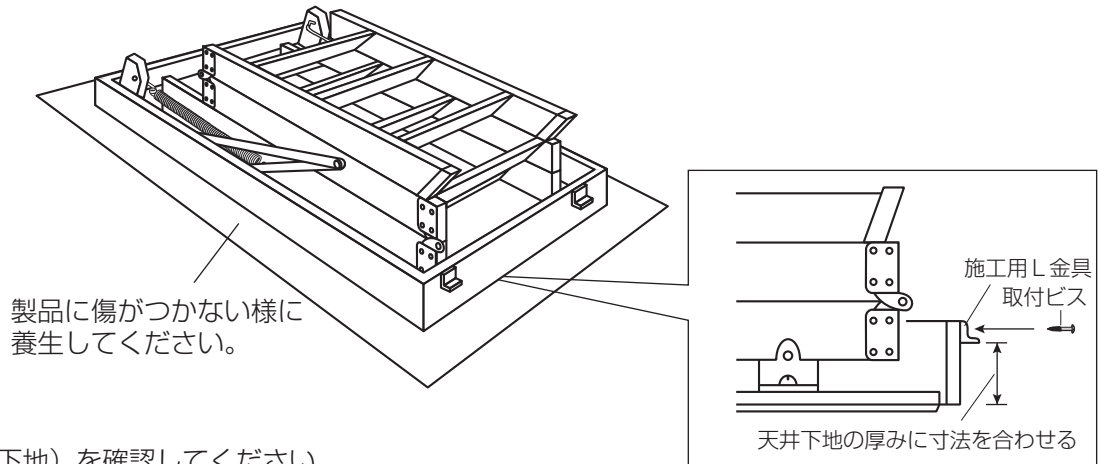


(単位：mm)

No	部位	8尺用	9尺用		
①	外枠下面から床面まで	2300~2500	2500~2700		
②	小屋裏天井面から外枠下面まで	600以上 (天井裏作業スペースの確保のため)			
③	丁番側の外枠外面から壁面まで	20以上			
④	丁番側の外枠外面からはしご先端まで	2300	1510	2500	1620
		2500	1230	2700	1320
⑤	はしご先端から壁面まで	800以上 (降りるスペース確保のため)			
⑥	天井開口寸法	幅	641		
⑦		長さ	1252		
⑧	外枠寸法	幅	639		
		長さ	1250		
⑩	高さ	125			
⑪	はしご踏面幅	70			
⑫	はしご踏板厚さ	29			
⑬	はしご踏板蹴上げ	212			
⑭	はしご幅	404			
⑮	はしご踏板幅	352			
⑯	はしご角度	2300	60°	2500	60°
		2500	68°	2700	68°
⑰	外枠ロック側外面から壁面まで	1300以上 (開閉作業スペース確保のため)			

5. 施工の準備

①施工用補助L金具を取付けます。

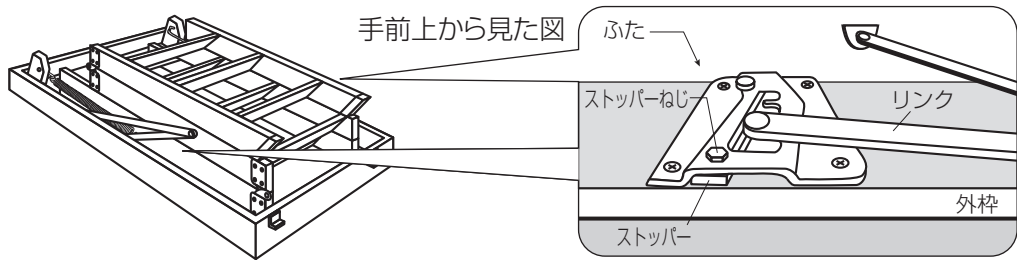


②天井高（F.L～天井下地）を確認してください。

この製品はリンク位置2に設定してあります。

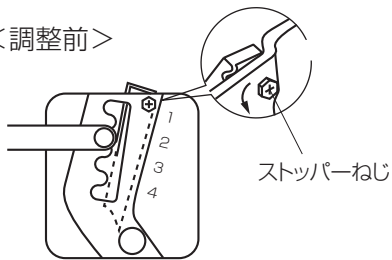
（※リンク位置と天井高の範囲は下表を参照ください。）

天井高がリンク位置2に該当しない場合は、リンクの位置を変更してはしごの角度調整を行ってください。

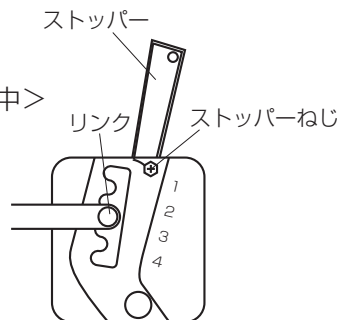


●はしごの角度調整方法

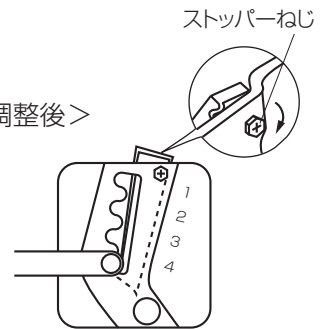
<調整前>



<調整中>



<調整後>



①ストッパーねじをスパナでゆるめます。

②ストッパーを上へ引っ張り上げ、ストッパーねじをまわして仮どめしてください。次に下記表を参考にしてリンクを1～4に移動します。

③ストッパーを下に降ろし、ストッパーねじを締めます。

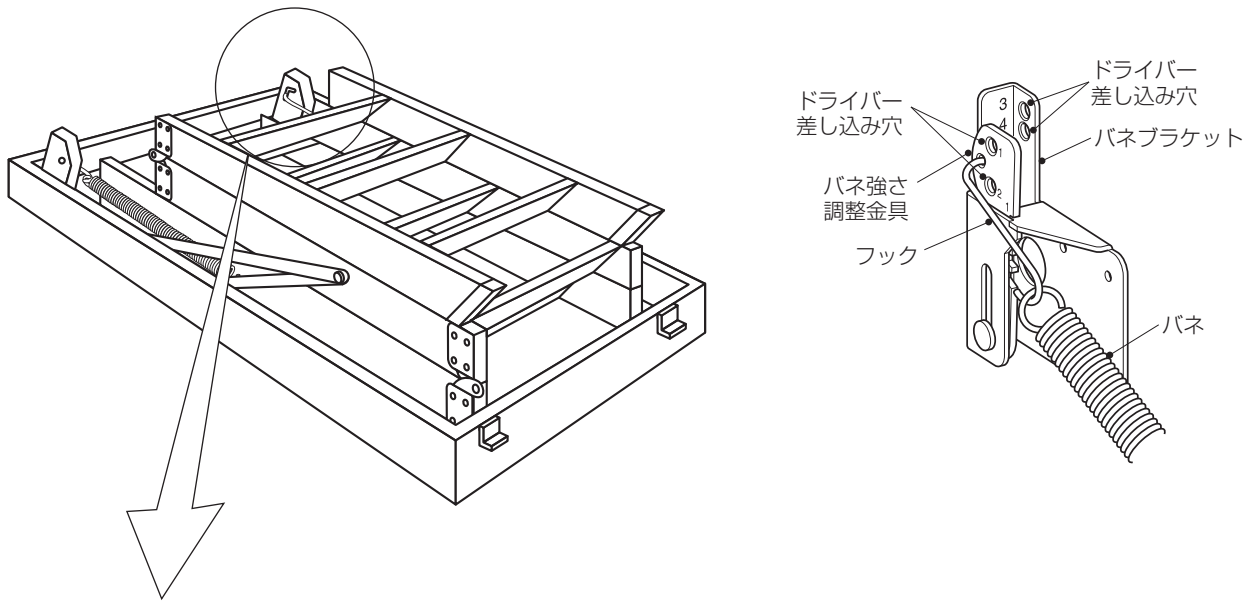
天井高 mm	8尺高	2300-2352	2346-2407	2400-2463	2459-2500			
	9尺高	2500-2543	2540-2601	2599-2661	2662-2700			
リンクの位置		1	 工場出荷時位置	2		3		4

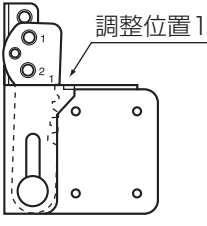
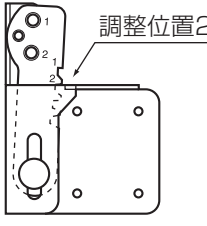
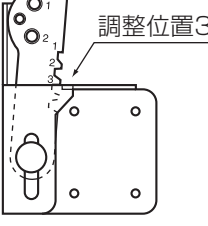
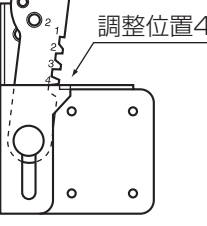
⚠危険 リンクは左右同じ位置に確実にはめ込みストッパーを差し込んで、ストッパーねじを締め込んでください。

④バネの調整

バネの強度はクロス等直貼り施工する場合に設定してあります。

石膏ボード等天井仕上材貼りで施工する場合はバネブラケットのバネ強度調整金具の位置を調整してください。

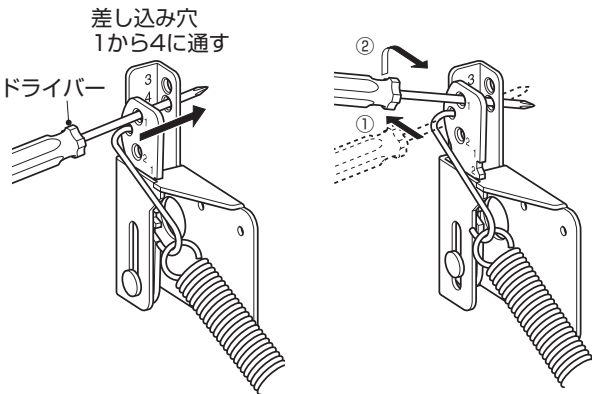
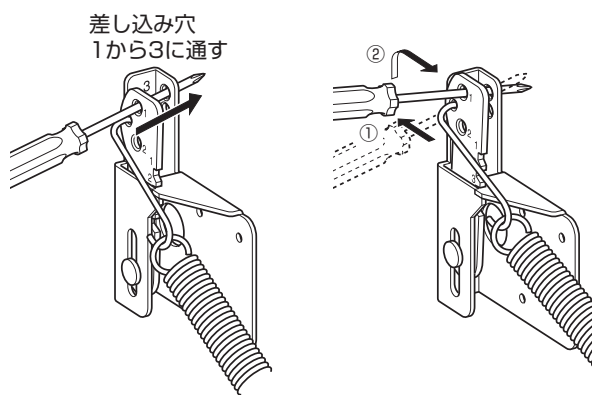
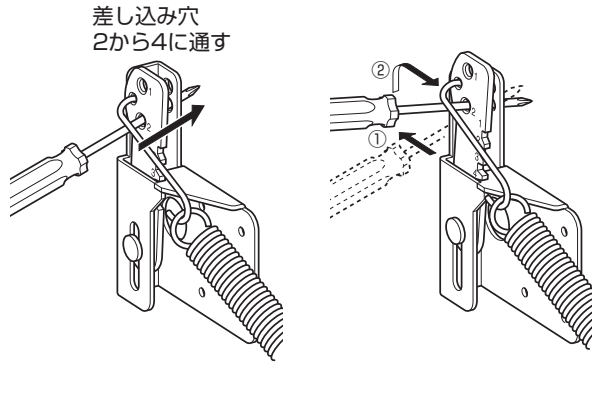


バネの強度			
弱 ←			→ 強
1	2	3	4
 <p>調整位置1</p>	 <p>調整位置2</p>	 <p>調整位置3</p>	 <p>調整位置4</p>
クロス等直貼りの場合		石膏ボード等天井仕上材貼りの場合	
<p>工場出荷時位置</p> <p>クロス等直貼りの場合、通常はこの位置で使用します。</p>		<p>厚み12.5mm等の石膏ボード貼りの場合にこの位置で使用します。</p>	
<p>注意 ①上記の調整位置はあくまでも目安です。 ②天井仕上材の重量等によって表記の調整位置と合わない場合があります。</p>			

- 注意**
- ①天井フタの開き位置の目安は、ロックを解錠し、天井フタが開いて止まる位置が天井面から天井フタまでの高さが350mm～500mm程度です。
 - ②天井材の仕様とバネ調整位置は必ず確認してください。
天井材の重さとバネの強さが合っていないとフタが急に開いたり、強く閉まったり危険です。

危険 石膏ボード、その他の天井材は、t=12.5以下のものを使用してください。

バネの調整方法（バネ強さ調整金具を上げる場合）

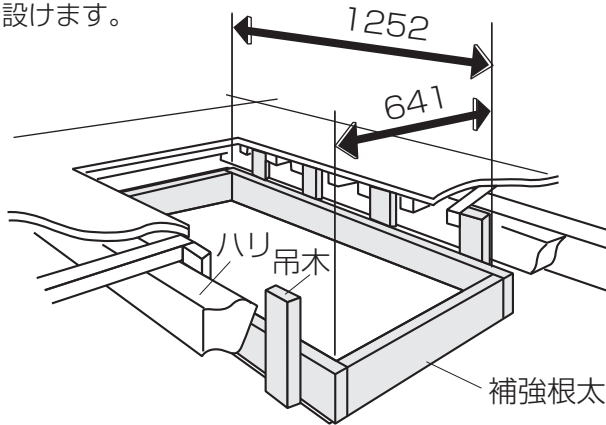
<p>バネ調整位置 1～2に変える場合</p>	<p>差し込み穴 1から4に通す</p> 	<p>バネ強さ調整金具のドライバー差し込み穴1からバネブラケットのドライバー差し込み穴4へドライバーを差し込み図の①②のようにバネ強さ調整金具を引っ張り上げながら移動させてください。</p>
<p>バネ調整位置 2～3に変える場合</p>	<p>差し込み穴 1から3に通す</p> 	<p>バネ強さ調整金具のドライバー差し込み穴1からバネブラケットのドライバー差し込み穴3へドライバーを差し込み図の①②のようにバネ強さ調整金具を引っ張り上げながら移動させてください。</p>
<p>バネ調整位置 3～4に変える場合</p>	<p>差し込み穴 2から4に通す</p> 	<p>バネ強さ調整金具のドライバー差し込み穴2からバネブラケットのドライバー差し込み穴4へドライバーを差し込み図の①②のようにバネ強さ調整金具を引っ張り上げながら移動させてください。</p>

- ⚠ 注意**
- ① バネ強さ調整金具を下げる場合は上記と逆の手順で行ってください。
 - ② バネ強さ調整金具の上げ下げは、1段ずつ行ってください。
 - ③ バネ強さ調整金具の切り込み溝がバネブラケットに確実に固定されていることを確認してください。

6. 施工の手順

⚠ 警告 この作業は必ず二人以上で行ってください。

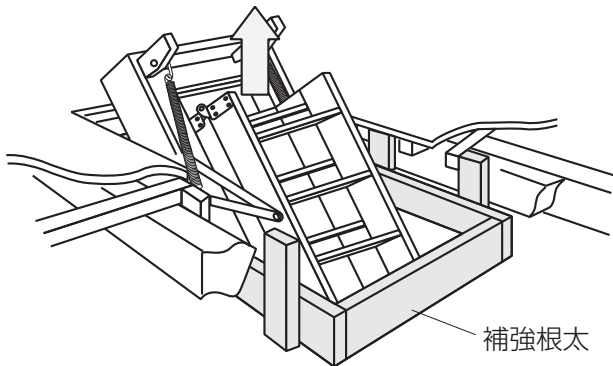
①開口部を設けます。



左図寸法で開口部を設けます。

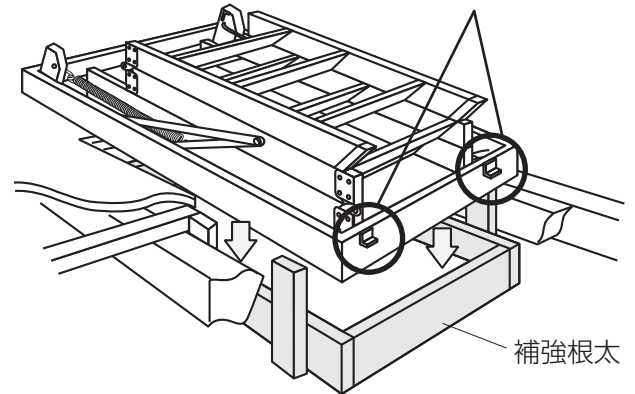
⚠ 危険 ハリ等の構造材から、十分な強度の吊り木によって、天井補強根太を設置してください。補強が弱いと落下する等、たいへん危険です。

②スライドタラップを室内側より持ち上げます。

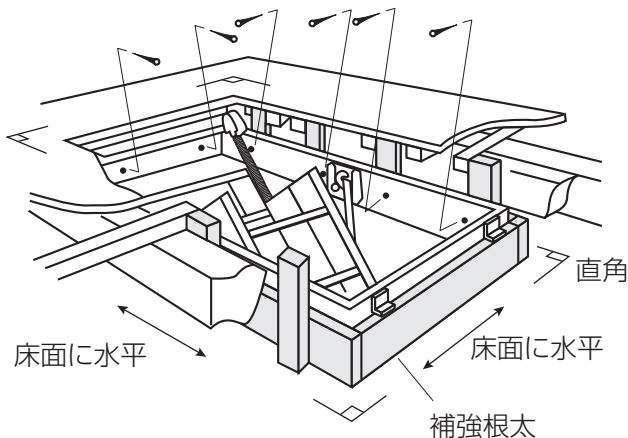


③補強根太に架かるように置きます。

⚠ 注意 施工用L金具が取付けられていることを確認してください。



④補強根太に $\phi = 60$ 以上（現場手配）の木ネジで強固に固定してください。

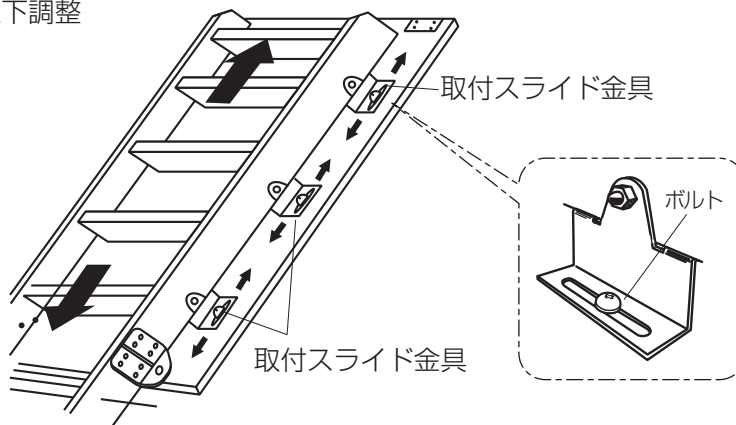


⚠ 警告 必ず長手4本以上、短手2本以上固定してください。

⚠ 警告 錠側の外枠は反っていると、錠のラッチがかりにくくなり危険です。必ず確認してください。

⚠ 警告 上下調整は、必ず行ってください。脚が床面にきちんと設置していない場合、はしごが動いて危険です。

⑤はしごの上下調整

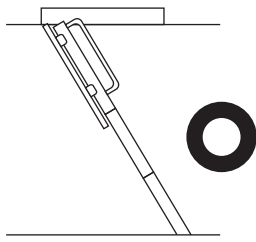


取付スライド金具のフタ側のボルト（6ヶ所）をゆるめ、はしごをスライドさせ調整し、締めなおしてください。

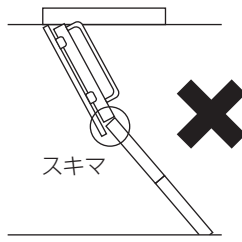
⚠ 注意 ボルト、ビスは確実に締め込んでください。

下図を参考にはしごがまっすぐになる様に調整して下さい。

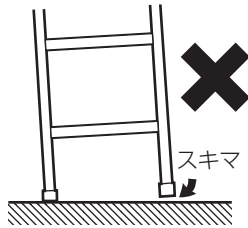
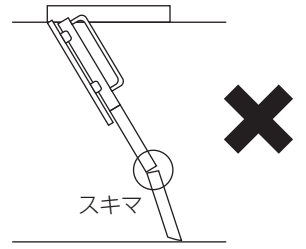
はしごがまっすぐになる



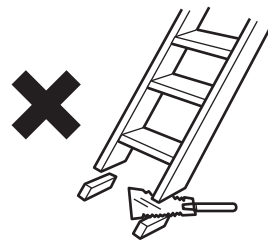
はしごを上にあげる



はしごを下におろす



ハシゴの左右が均一に床に接する様に調整して下さい。はしごの破損につながったり、使用上不安定な状態となりケガをしたりするおそれがあります。



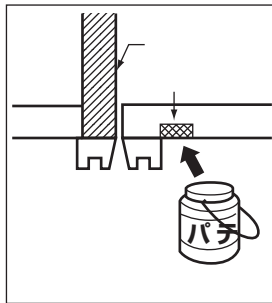
ハシゴを切る等、製品に改造を加えないで下さい。

7. 天井材の施工

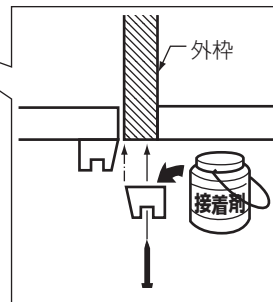
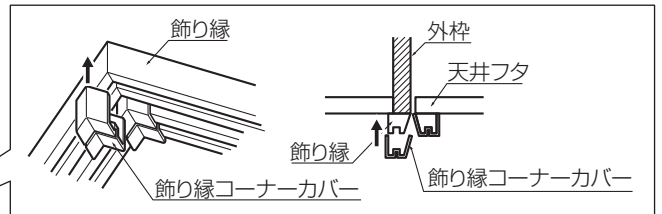
同梱の飾り縁コーナーカバーを図のように飾り縁の溝にはめこんでください。(4ヶ所)
フタ側の飾り縁コーナーカバーはあらかじめ取付済です。

①飾り縁の取付け

飾り縁の施工が終わった後、フタ及び周辺の天井材の施工を行います。



クロス貼りの場合
フタの埋め込み金具の穴は
パテ等で埋めて、表面を
平滑にして貼って下さい。



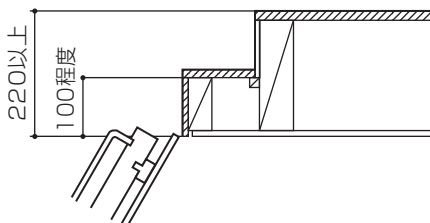
外枠下面の内づらに
合わせて飾り縁を木工用ボンドと釘で止めて下さい。

②フタ及び周辺の天井材を施工します。

フタは合板ベタ芯です。天井材を貼る場合は、接着剤とクギ等を併用して固定して下さい。

⚠危険 石膏ボード、その他の天井材は、 $t = 12.5$ 以下のものを使用して下さい。

③小屋裏床面の施工



外枠下面から小屋裏床面までの高さが220mm以上になる場合は、外枠上面に左図のような階段状のステップを設けてください。
(踏板の強度は十分確保して下さい。)

8. 点検他

- ①リンクやスライド金具等のボルト類にゆるみがないことを確認してください。
- ②はしごがまっすぐになる様にストッパーやスライド金具が調整されていることを確認してください。
- ③お施主様用の「取扱説明書」は必ずお施主様にお手渡しください。

ホルムアルデヒド発散区分

規制対象外（F☆☆☆☆）

構成部位	内装仕上げ部分				下地部分			
	ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分	認定番号	ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分	認定番号		
蓋板	合板	JAS品	F☆☆☆☆	—	合板	JAS品	F☆☆☆☆	—

規制対象外部位・告示対象外

外枠	規制対象外部位：規制対象外（F☆☆☆☆）同等品質材料を使用
はしご（アルミ）	告示対象外
樹脂モール	告示対象外
金具ほか	告示対象外

ユーザー登録サービス

製品を末永く安全にご使用していただくために、ユーザー登録をお願いいたします。
ご登録いただいたお客様情報は、製品安全に関する大切なお知らせや暮らしに役立つ情報をDAIKENからご連絡する際に、利用させていただきます。

ユーザー登録は無料です！！

登録はこちらから

<https://www.daiken.jp/qr/user/>



お問い合わせ窓口について

●製品に関するお取扱い、補修、工事などのご相談は、組立て・設置業者、工務店へ。

製品に関するお問い合わせ

DAIKENお客様センター

☎ 0120-787-505

（フリーダイヤル）

●受付時間…平日9:00～17:00

（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

<https://www.daiken.jp/qr/form01/>

メールで
写真も
送ることが
できます。



修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ

部品のネット販売サイトです。

※購入に際しては登録が必要です。

<https://www.daiken.jp/qr/service/>

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶

▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ



ご相談窓口における
個人情報のお取扱い

DAIKEN株式会社およびDAIKENグループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（DAIKEN株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）なお、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただくためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。